

矢板市 生活支援体制整備事業 第2層協議体準備会(3回目)を開催しました

第7号
R1年5月

矢板市社会福祉協議会は、矢板市から生活支援体制整備事業の委託を受け、高齢者の方がいつまでも住み慣れた地域で元気に過ごすことができるよう、助け合い・支え合いのある地域づくりに取り組んでいます。

第2層協議体設置に向けての準備会(3回目)を開催しました。



泉地区 4月19日 参加19名



片岡地区 4月24日 参加14名



矢板地区 4月26日 参加27名

1 これまでのふりかえり

- 助け合い・支え合いのある地域づくりがなぜ必要なのか？

⇒介護の担い手の減少・介護保険サービスを必要とする高齢者の増加・介護保険財政難が今後問題となることから、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続する仕組み（地域包括ケアシステム）が必要となる。

- 第2層協議体とは？

⇒環境や社会資源などの状況は地域によって異なり、困り事や課題、必要となる支援や支え合いの活動も地域ごとに違ってきます。そのため、泉・矢板・片岡（中学校区）の3地区で、地域の実情に応じた助け合い・支え合いのある地域づくりを進めていくための話し合いの場として、第2層協議体の発足を目指しているところです。

- 第1回地域づくり勉強会～立ち上げ準備会（2回目）までのグループの話し合い・ワークショップについてなどのふりかえりを行いました。

2 ワークショップ「宝物（あるもの）探し」～地域にある助け合い・支え合いの掘り起こし

「地域情報の整理」

- ◆ 「ワークショップや話し合いを行うことに意味があるのか？」というご意見もいただきますが、これまでのように市や社協が決めたことを皆さんに取り組んでいただくのではなく、第2層協議体では自分たちがこれから行っていくことを皆さんで決めていくこととなります。そのため、ワークショップ・グループでの話し合いは、地域の情報を整理することで、この地域に足りないものや必要なものを考え、協議体として発足となったら取り組んでみたいことを考えてもらうために行っています。（参加いただいた方の意見をお聞きして進めているため、各地区で進め方や進み具合は異なります。）

今回は、①追加の情報を出す。②課題・困り事に対して、どういった宝物（あるもの）が出たか、情報を整理するということを行いました。日頃は、他の行政区で行われていること、他の組織の活動などについて話しを聞ける機会はその間に多くないと思います。他のところの話しを聞くことで、自分たちが行っている活動について考えたり、新しく始めることを考えるきっかけとなり、各活動の活性化、各活動との連携を強化することにつながり、助け合い・支え合いについての関心や意識を高めることができると思います。

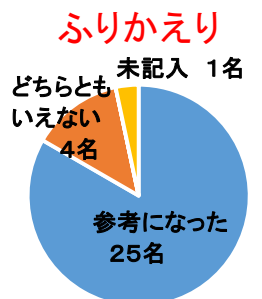
3 今後の予定

第2層協議体は、参加していただいている皆さんの合意を得て、発足させていただこうと思っています。第2層協議体の活動内容や今後の展開がわかりにくいのご意見もいただいています。皆さんの理解を深められるように、より一層努力をしていきます。各地区の年間の日程表を作成しました。（日程表をご希望の方は、社会福祉協議会までご連絡ください。）

泉地区：5月17日（金） 片岡地区：5月22日（水） 矢板地区：5月31日（金）
各地区14時からの開催となります。

アンケート結果

参加者60名 アンケート回答者 30名

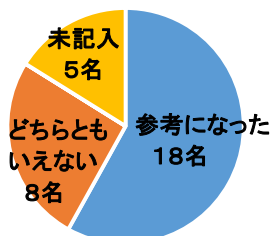


参考にならなかった 0名

- 他の地域の情報を知ることができた。
- 資料だけでなく、言葉で補足されたことでとてもわかりやすかった。
- 方向性は理解出来ました。
- 表面だけで深く掘り込んでいない？
- 知らない事がたくさんあり勉強していきたい。

助け合い・支え合いのある地域づくり・第2層協議体については少しずつ理解が得られているような印象を受けます。次回の準備会で協議体への理解や発足時期についての意見を伺いたと思っています。

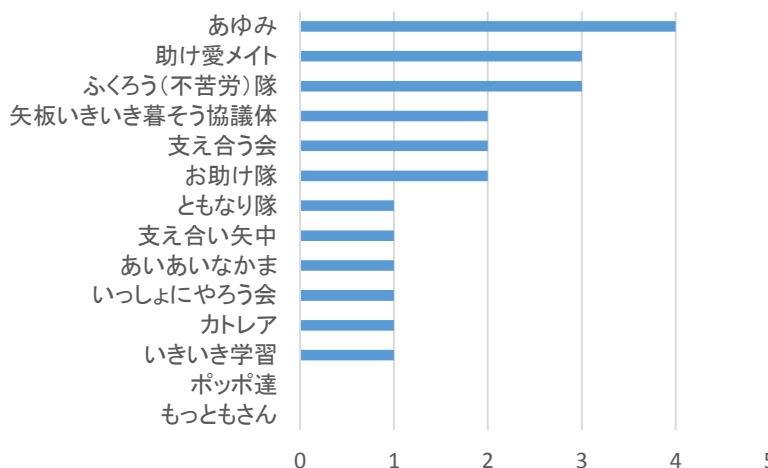
ワークショップ



参考にならなかった 0名

- 問題が多く、なかなかまとまらない。
- 的を絞って深掘りすることも必要か？
- 行政区によってやっている事が違って、課題も違う。
- 進め方は理解。但し情報の取り方研究要す。
- まだまだ出ていない事(見えない)がたくさんあるのでは？
- 地域の情報をもっと密に深く地域に関わっていけたら…

助け合い・支え合いのある地域づくりを行うメンバーの呼称



『助け合い・支え合いのある地域づくりを行うメンバー』の呼称について、準備会のアンケートでご意見を伺いました。(右図)

今回アンケートの回答が少なかったため、投票など別の方法を考えていきます。

【その他 ご意見・ご要望など】

- 今回は話し合いが活発になり、良い方向に向かってきているように感じた。
- 初めての参加で他の人よりマイナスのスタートでしたが、勉強して地域の方とのつながりを持ちたい。
- 自分の地区の公的役員の出席がほしい。
- 協議体(第2層)設置のスケジュール
- 地域へ進めていくためのスケジュール化に時間がかかれば、現在の役員が変更されることもあり、要注意。
- まだまだ問題が多い。

H31年4月26日までで協議体のメンバーとしてお名前を書いていたideている方
泉地区:5名 矢板地区:22名 片岡地区:12名

たくさんの方に関心を持ってもらい、一緒に活動をしてくれる人を増やしていくこと(助け合い・支え合いの仲間づくり)も協議体メンバーの重要な役割です！

助け合い・支え合いのある地域づくり・第2層協議体は、皆さんからいただく貴重なご意見をもとに進めさせてもらっています。ぜひ、みなさんのご意見をお寄せください。



助け合い・支え合いのある地域づくりの取り組みは、今までにない新しいスタイル・手法です。私たちも初めてのことで、毎日試行錯誤の連続です。
皆さんの地域を安心して暮らしていける地域にしていくために、皆さんの力が必要です！ぜひ私たちに皆さんの力を貸してください。

矢板市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 川畑・只木・吉田
電話 44-3000 FAX 43-6661

